2021年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～5組	教科	国語	科目	国語 A
				単位数	3
「学び」の目標とねらい	国語のおもしろさを知る 読み・書き・発表の基礎・基本を定着させる。				
教材	国語1(光村図書)・中学書写(光村図書)				
副教材等	【必携】国語便覧(光村図書)・中学必修テキスト国語1・基本級別漢字 天声人語ノート・読書ノート・αスタンダード				

1. 学習内容

★様々な作品に親しみ味わい、「読む」「聞く」「書く」の基本的内容を学び、調べたこと、考えたことを色々な方法で表現します。

- 1 文学的文章の読み方、および題材や内容、5W1H(いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように)などの構成法を学びます。また、登場人物の心情の変化を読み取り、時代や状況が変化する中で自分を見つめていく大切さを考えます。
- 2 説明的文章の読み方と文章構成を学び、問題意識を持って、ものを見たり考えたりします。読解・要約にも挑戦します。
- 3 「基本級別漢字」の中の範囲を決め、週1回朝テストを行います。また、漢字の組み立てについても考えます。
- 4 ベネッセの学力推移調査に向けての準備、復習を通して、確実に得点できるようにします。

2. アドバイス

★一つ一つの活動を丁寧に行っていくことが国語力のアップに繋がります。その際に次の6項目を毎日心がけてください。

- 1 授業中および宿題などの課題(語句の意味調べや新出漢字を覚える等)は必ず行うこと。
- 2 教科書のキーワードや大意が分かるようになるまで繰り返し読むこと。
- 3 考えたことや思ったことを書いたり話したりするなど進んで表現すること。
- 4 板書をノートするだけでなく、教師が話す大事なところや自分の考えをメモすること。
- 5 名作を中心に進んで読書すること。
- 6 毎週行う「漢字朝テスト」の練習は早めに開始し、確実に覚えること。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

★ノートは定期的に提出してもらいますので、しっかりとノートを取ってください。

★国語の成績は国語 A・国語 B・漢字テストを総合した点数で評価します。

★宿題・課題・授業態度(発言・聞く態度など)も成績に加味します。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	読む・書く・聞く・話す		言葉に出会うために	「情報を正確に聞き取ろう」	必要な情報を、要点を押さえ確実にメモできる	☐
			学びをひらく	「野原はうたう」	表現技法に注目して詩を味わうことができる	☐
				「詩四編」	好きな詩を選び朗読できる	☐
				「花曇りの向こう」	人物の行動や情景描写から気持ちの変化を読み取ることができる	☐
				「ダイコンは大きな根？」	問題提起と答えの文に着目し、構成を捉えることができる	☐
問題演習		序論・本論・結論に注目して読むことができる	☐			
具体例とそこから言いたいことに注目して読むことができる	☐					
読み方、解き方を理解できる	☐					
本文の要約に取り組める	☐					
1学期期末考査	読む・書く・聞く・話す		学びをひらく	「ちょっと立ち止まって」	問題提起と答えの文に着目し、構成を捉えることができる	☐
			言葉をつなぐ	「詩の世界」 「空を見上げて」	序論・本論・結論に注目して読むことができる	☐
					具体例とそこから言いたいことに注目して読むことができる	☐
問題演習		詩の表現技法を理解できる	☐			
言葉の力について考えを深める	☐					
読み方、解き方を理解できる	☐					
本文の要約に取り組める	☐					
夏休み			宿題: 〇スタンダード、天声人語ノート、読書など			

2学期中間考査	読む・書く・聞く・話す		つながりを読む 問題演習	「大人になれなかった弟たちに……」 「シカの『落穂ひろい』」	語り手に注目して、小説を読解することができる 人物の行動や情景描写から気持ちの変化を読み取ることができる 問題提起と答えの文章に着目し、構成と要旨をとらえることができる 図・表と本文の関係に注目しながら文を読むことができる 読み方、解き方を理解できる 文章の要約に取り組むことができる	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2学期期末考査	読む・書く・聞く・話す		論点をとらえる 問題演習 書写	「幻の魚は生きていた」 「流水と私たちの暮らし」 「行書の書き方を学ぼう」	問題提起と答えの文章に着目し、構成と要旨をとらえることができる 図・表と本文の関係に注目しながら文を読むことができる 読み方、解き方を理解できる 本文の要約に取り組める 点画の方向や形の変化、連続の仕方を覚えて書くことができる	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
冬休み			宿題: <i>o</i> スタンダード、天声人語ノート、読書など			
3学期学年末考査	読む・書く・聞く・話す		表現を見つめる 問題演習	「少年の日の思い出」	語り手に注目して小説を読解することができる 人物の行動や情景描写から気持ちの変化を読み取ることができる 読み方、解き方を理解できる 本文の要約に取り組める	☐ ☐ ☐ ☐
春休み			宿題: <i>o</i> スタンダード、天声人語ノート、読書など			

令和2年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～5組	教科	国語	科目	国語B
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	国語のおもしろさを知る 読み・書き・発表の基礎・基本を定着させる。				
教材	国語1(光村図書)・すらすら基本文法				
副教材等	【必携】国語便覧(光村図書)・基本級別漢字・天声人語ノート・読書ノート・ のスタンプ・必修テキスト				

1. 学習内容

以下の内容を学習します。

- ・文法…主にワークを用いて、進めていきます。
- ・古典…古文・漢文を音読し、そのリズムに慣れることを目標にします。
- ・作文…正しい日本語で、論理的に書く力をつけていきます。
- ・その他…ブックトーク、書写、発表を通して国語の面白さに触れていきます。
- ・宿題…読書ノート・天声人語ノート・語句プリント・漢字プリントを定期的に課題として出します。

2. アドバイス

- ・板書を正確に写しましょう。
- ・文法は例文を自分で作ってみるなどして、実際の使用に即した文法の学習をしてください。
- ・現代文でも古典でも、名作と呼ばれる作品を中心に読書に励みましょう。国語力の向上につながります。
- ・暗記が必要なものは、その場その場で覚えていきましょう。
- ・発表にも挑戦してもらいます。制作時間を授業内に取りますので、できる限り授業中に終わらせられるようにしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ★ノート、プリントは定期的に提出してもらいますので、しっかりとノートを取ってください。
- ★国語の成績は国語A・国語B・漢字テストを総合した点数で評価します。
- ★宿題・課題・授業態度(発言・聞く態度など)も成績に加味します。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	読む・書く・話す・聞く	すらすら	新しい視点へ 天声人語ノート 慣用句・ことわざ	文章～文をつなぐことば	文章～文をつなぐことばについて理解できる	☐
		光村		「好きなもの」を紹介しよう	自分の好きなものを1分間でスピーチができる	☐
				天声人語の書き写し	分からない言葉の意味を調べ、社会の出来事に関心を持つことができる	☐
				よく使われる慣用句・ことわざプリント	よく使う慣用句・ことわざを覚えることができる	☐
1学期期末考査	読む・書く・話す・聞く	すらすら	読書活動 天声人語ノート 慣用句・ことわざ いにしへの心にふれる	自立語～代名詞	自立語～代名詞について理解できる。	☐
		光村		ブックトーク	自分が読んだおすすめの本を紹介できる	☐
				天声人語の書き写し	分からない言葉の意味を調べ、社会の出来事に関心を持つことができる	☐
				よく使われる慣用句・ことわざプリント	よく使う慣用句・ことわざを覚えることができる	☐
			いろは歌	歴史的仮名遣いを知ることができる いろは歌を暗唱することができる	☐ ☐	
夏休み			天声人語ノート、読書、αスタンダードなど			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
2学期中間考査	読む・書く・話す・聞く	すらすら		動詞	動詞の活用の種類、活用形について理解することができる	☐
		光村	いにしへの心に触れる	「月に思う」	和歌に親しむことができる	☐
			スピーチ	対話型スピーチ	わかりやすい話し方を実践できる	☐
			天声人語ノート	天声人語の書き写し	分からない言葉の意味を調べ、社会の出来事に関心を持つことができる	☐
			慣用句・ことわざ	よく使われる慣用句・ことわざプリント	よく使う慣用句・ことわざを覚えることができる	☐
2学期期末考査	読む・書く・話す・聞く	すらすら		用言	用言の活用の種類、活用形について理解することができる	☐
		光村	いにしへの心に触れる	「竹取物語」	冒頭文を暗唱することができる	☐
			プレゼンテーション	プレゼンテーションをする	プレゼンテーションの形式を学び、実践できる	☐
			天声人語ノート	天声人語の書き写し	分からない言葉の意味を調べ、社会の出来事に関心を持つことができる	☐
			慣用句・ことわざ	よく使われる慣用句・ことわざプリント	よく使う慣用句・ことわざを覚えることができる	☐
冬休み			天声人語ノート、読書、αスタンダードなど			

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
3学期学年末考査	読む・書く・話す・聞く	すらすら		副詞～助詞	副詞～助詞について理解することができる	☐
		光村	いにしへの心に触れる	「今に生きる言葉」	故事成語の意味と由来について理解することができる	☐
			天声人語ノート	天声人語の書き写し	分からない言葉の意味を調べ、社会の出来事に関心を持つことができる	☐
			慣用句・ことわざ	よく使われる慣用句・ことわざプリント	よく使う慣用句・ことわざを覚えることができる	☐
春休み			天声人語ノート、読書、αスタンダードなど			

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～4 組	教科	社会	科目	地理 A
				単位数	2
「学び」の 目的とねらい	日本や世界のすがたについて学習し、自分たちの生活と世界とのつながりを知る。				
教材	『中学生の地理』 帝国書院				
副教材等	【必携】『中学校社会科地図』 帝国書院				

1. 学習内容

- ★世界の国々の国の位置やどのような特色を持った国なのかを学習します。
- ★世界地図から大陸の分布や地域を区分し、国の面積の比較や時差などを学習します。
- ★暑い地域の国や乾燥した地域の国など気候や地形などの自然環境の違いからくる人々の生活の違いを学習します。
- ★地域別に農業や鉱業、工業の特色および地域の環境を守る取り組みなどを学習します。

2. アドバイス

- ★身近なところ(例えば、テレビの近くや家族でおしゃべりをする部屋など)に地図帳を置いておきましょう。小学校で使っていた地図帳で十分です。テレビなどを見ていて「それはどこにあるのだろう」と思ったらすぐに地図で位置を確かめる習慣をつけるようにしましょう。地理の学習では、確実に効果が現れます。
- ★分かりやすいノートにするためには、色鉛筆で分布図などに色つけをしましょう。
- ★授業で学習した内容は、家庭での復習の時間に地図の中でその位置を確かめ、白地図に書き込むようにしましょう。(授業中のノートは、後で自分が学習して分かったことなどを書き加えることができるように少しスペースを空けておくと良いでしょう。
- ★新聞の切り抜きや自分で調べて分かったことなどをファイルするのは、とても良い学習方法となります。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

宿題 ・ 課題 ・ ノート提出 ・ 小テスト ・ 忘れ物チェック ・ 授業を受ける態度など

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄	
1学期中間考査	世界のさまざまな地域	2-3	世界の姿 地球をながめて	六大陸と三大洋 世界の地域区分	地図の中で大陸や海洋・地域区分を理解する	☐	
		4-11		世界の主な国	国名の由来や内陸国・島国・大きい国や小さい国・人口の多い国を理解する	☐	
		12-15		世界各地の人々の生活と環境	地球儀と世界地図	目的に合った地図の利用を理解する	☐
		16-32			暑い地域・寒い地域・乾燥した地域・高地	それぞれの地域の気候や地形の特色から衣食住の違いを理解する	☐
1学期期末考査	世界の諸地域	33	アジア州	世界の気候帯	熱帯から寒帯までのおおまかな特色と分布を理解する	☐	
		34-35		住居・衣服とその変化	気候と関係していることを理解する	☐	
		36-37		食文化とその変化 宗教と生活のかかわり	世界各地の主食を理解する	☐	
		38-43			三大宗教を中心に生活とのかかわりを理解する	☐	
		44-47		広い範囲に及ぶアジア	アジアを5つに区分し、山脈や川などの地形や気候の特色を理解する	☐	
		48-49		多様な文化と集中する人口	中国やインドなどアジアには人口の多い国が集中し、人口問題を理解する	☐	
		50-51		アジアの農業	降水量の違いで、稲作や畑作・遊牧など農業のやり方が異なることを理解する	☐	
52-57	アジアの工業	工業化が進んでいる地域や中国の工業化とアジアの資源の分布を理解する	☐				
				身近なものからみたアジア	仏教など色々な文化が伝わった流れを理解する	☐	

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	世界の諸地域	58-59	ヨーロッパ州	ヨーロッパの自然	国際河川や氷河がつくった地形と偏西風の影響を受ける気候を理解する	☐
		60		文化と歩み	多様な言語・民族とキリスト教の影響が強いことを理解する	☐
		61		EU(欧州連合)の結びつき	ヨーロッパの結びつきがEUへ発展していくこととEUとしてのまとまることの強さや問題点を理解する	☐
		62		ヨーロッパの農業	地中海式農業・混合農業・酪農が、気候と関係していることを理解する	☐
		63-68		ヨーロッパの工業	産業革命から先端技術産業までの発展を理解する	☐
		69	ロシア	広大な国土と多民族・豊富な資源を理解する	☐	
		70-71	アフリカ州	アフリカの自然環境	赤道をはさんだ大陸と熱帯から乾燥帯へと広がる気候を理解する	☐
		72-73		歩みと文化	植民地からの独立と言語や州境に宗主国の影響が強いことを理解する	☐
		74-77		アフリカの産業	輸出用の農作物のプランテーションや鉱産物のモノカルチャー経済が主であることを理解し、先進国の貿易のかかわり方を考える	☐

2学期期末考査		78-79	北アメリカ州	多様な自然環境	広大な地域の山脈や平原・川・湖などの地形や熱帯から寒帯の気候を理解する	☐
		80-81		多くの民族	先住民・白人・黒人・ヒスパニックなど多くの人種が共存していることを理解する	☐
		82-83		生活と文化	世界に影響を与える合衆国の生活と文化を理解する	☐
		84-89		大規模な産業	合衆国の大規模な農業と五大湖周辺やサンベルトの工業の特色を理解する	☐
		90	南アメリカ州	多様な自然環境	熱帯林の広がる地域から高原や草原地域を理解し、産業とのかかわりに結びつける	☐
		91-93		歴史と文化	植民地支配の影響と混血が進んだことによる変化を理解する	☐
時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3学期学年末考査	世界の諸地域	94-95	南アメリカ州	変化する農業と鉱工業	さまざまな国々の農業や鉱工業を学習しモノカルチャー経済の問題点を考える	☐
		96-101		環境問題	ブラジルに見る森林の減少が、地球規模の環境問題に影響していることを考える	☐
		102-103	オセアニア州	自然環境	乾燥地域が多くをしめる国土を理解する	☐
		104-108		産業の特色	自然環境が大きく影響を与えていることを理解する	☐
		109		移民と多文化社会	農産物や鉱産物の輸出がさかんであることを考える	☐
		110-118	地域の調査	対象となる地域の調査	移民によってオーストラリアのさまざまな文化などが形成されたことを理解する	☐
		総復習	一年間の総復習	調べる地域やテーマを考え資料を集めて分析し、まとめて発表する 一年間の総まとめを行い学習内容を整理する	☐	

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年 1～4 組	教科	社会	科目	地理 B
				単位数	2
「学び」の 目的とねらい	日本や世界のすがたについて学習し、自分たちの生活と世界とのつながりを知る。				
教材	『中学生の地理』 帝国書院				
副教材等	【必携】『中学校社会科地図』 帝国書院				

1. 学習内容

- ★日本の自然や産業の特徴をまとめることから学習していきます。
- ★日本を地域別に分類し、それぞれの地域の地形や気候などの自然環境をもとに関係の深い農業や林業、水産業などの産業の発展の過程を学習し、環境問題や課題となっていることなどを追求します。

2. アドバイス

- ★学習した位置を地図の中で確認する習慣をつけましょう。そのためには、小学校で使っていた地図帳をテレビの近くに置いておくとよいでしょう。
- ★色鉛筆を効果的に利用しましょう。分布図などは色分けすることにより頭に入りやすくなります。
- ★ノートに地図を書き入れると学習効果は抜群です。(後で地図を入れるスペースを残しておくようにしましょう)
- ★テスト問題は、何度も見直しをしましょう。テストは大切な内容のところから出題されています。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

宿題 ・ 課題 ・ ノート提出 ・ 小テスト ・ 忘れ物のチェック ・ 授業を受ける態度など

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	日本のさまざまな地域	119-121	日本の姿	世界の中の日本の位置	地図の中での日本の位置を確認する	☐
		122-123		時差でとらえる日本の位置	経度から時差を計算し世界の時間を知ることができる	☐
		124-125		日本の範囲	東西南北の端の島・排他的経済水域を理解する	☐
		126-129		都道府県と地域区分	都道府県名と庁所在地を確認する	☐
		130-131	自然環境の特色	日本の山地	主な山脈、山地の分布を理解する	☐
		132-133		日本の平野	土砂の堆積から形成される平野や盆地・扇状地・三角州を理解する	☐
		134-137		日本の海岸と海流	海岸の地形や大陸棚・海流を理解する	☐
		138-139		日本の気候の特色	6つの気候区分に分類し、季節風と関係の深い気候の特色を理解する	☐

1 学期 期末 考査		140-141		さまざまな自然災害	地震・津波・冷害・かんばつなどの自然災害とハザードマップを理解する	☐
		142-143	人口の特色	世界の人口分布と変化	世界の人口分布の変化を理解する	☐
		144-145		日本の人口の変化と特色	高齢化社会や過密・過疎問題を理解する	☐
		146-149	資源や産業の特色	資源の生産と消費	輸入にたよる資源や生活を支える発電を理解する	☐
		150-151		世界の中の日本の産業	日本の産業の変化を理解する	☐
		152-153	資源や産業の特色	日本の農業とその変化	農業の特色と農業地域(稲作・果樹栽培・近郊農業・促成栽培など)を理解する	☐
		154-155		日本の林業・漁業	林業や漁業の特色(木材の輸入・養殖や栽培漁業)を理解する	☐
		156-157		日本の工業とその変化	主な工業地域・太平洋ベルトを理解する	☐
		158-159		日本の商業・サービス業	産業の空洞化を理解する	☐
		160-161	地域間の結びつきの特色	世界の交通・通信網と日本	拡大するサービス業を理解する	☐
		162-163		日本の交通・通信網	日本における交通・通信網を理解する	☐
時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2 学期 中間 考査	日本のさまざまな地域	164-169	日本の諸地域 九州地方	九州地方の自然環境	火山などの地形と気候を理解する	☐
				火山のめぐみと防災	観光や発電資源としての火山や火砕流などの自然災害を理解する	☐
		170-171		九州地方の工業	北九州工業地帯の発展と変化を理解し九州の新しい工業(自動車工業やIT産業)を理解する	☐
		171-173		九州の農業	二毛作・促成栽培・シラス台地の農業・畜産など特色ある農業を理解する	☐
		174-179		沖縄の自然とくらしや産業	自然災害にそなえることや特色ある電照菊などの農業を理解する	☐

2学期期末考査		180-181	中国・四国地方	中国・四国地方はどのような地方だろうか	山陰・瀬戸内・南四国の気候の特色を理解する	☐
		182-183		交通網の発達と地域の生活の変化	本州四国連絡橋により産業が発展したことを理解する	☐
		184-185		瀬戸内の工業	石油化学を中心とする工業を理解する	☐
		186-189		中国四国地方の農業	地域の気候と関係する農業を理解する	☐
		190-191		過疎地域の取り組み	徳島県上勝町の取り組みを理解する	☐
		192-195	近畿地方	近畿地方はどのような地方だろうか	琵琶湖などの環境問題への取り組みを理解する	☐
		196-197		近畿地方の工業と環境保全	阪神工業地帯の発展と変化や工業用水のリサイクルを理解する	☐
		198-199		歴史的景観の保全	文化財の保全と景観の保全を理解する	☐
		200-205	中部地方	農業・林業・水産業	環境を守りながらの取り組みを理解する	☐
		206-219		中部地方はどのような地方だろうか	日本海・中央高地・太平洋と地域によって大きく異なる気候を理解する	☐
				産業（農業・工業）の特色	太平洋側・中央高地・日本海側に分けた産業の変化と特色を理解する	☐
		220-223	関東地方	関東地方はどのような地方だろうか	人口の集中からくる都市問題の発生と都市機能を分散する	☐
		224-229		東京大都市圏の拡大	新都心や再開発を行うことにより問題解決することを理解する	☐
	230-235	産業の特色（農業・工業）		近郊農業や高原などの農業・東京湾沿いや北関東工業地域の特色を理解する	☐	
時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄

3 学期学年末考査	日本のさまざま な地域	236-237	東北地方	東北地方はどのような地域だろうか 生活の変化と産業	日本海側と太平洋側の気候の違いやリアス海岸などの特色から産業との結びつきを理解する	☐	
		238-239					
		240-247				伝統工芸や工業団地の形成を理解する	☐
		身近な地域の調査	248-249	北海道地方	北海道はどのような地域だろうか 開発の歴史と農業	広大な平野と気候の特色を理解する 開発の歴史と大規模な畑作と酪農を理解する	☐
	250-253					変化した漁業を理解する	☐
			254-259		漁業の変化と外国との かかわり		☐
			260-275	身近な地域の調査	地図の活用	地形図を利用しての地域調査や地図記号・等高線を理解する	☐
			総復習	2年間の学習内容の復習をする	学習内容を理解する	☐	

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～5組	教科	数学	科目	数学 A
				単位数	3
「学び」の目標とねらい	代数的な解法と、関数的な見方の理解し、論理的な考え方や表現の基礎を身につける				
教材	未来へひろがる数学1				
副教材等	WinPass (文理書院) 中学1年・2年 毎日の計算トレーニング BOOK1・2				

1. 学習内容

- 1学期…正の数・負の数, 文字と式
 2学期…方程式, 比例と反比例
 3学期…連立方程式(中学2年生の内容)

2. アドバイス

授業をしっかりと聞き, 問題演習に取り組んで下さい。数学が苦手な人は, 特に復習を中心に反復学習してください。得意な人は問題集の発展的な問題などに積極的にチャレンジしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

朝テスト・小テスト・定期考査・授業態度・課題提出

4. 学習指導計画（数学 A）

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	1章 正負の数	P10	1節 正負の数	<ol style="list-style-type: none"> 1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小 	<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数を用いて、反対の性質を持つ量を統一して表すことができることを理解する。 ・数直線などを用いて数の大きさを比較できる。 	☐
		P21	2節 正の数・負の数の計算	<ol style="list-style-type: none"> 1 正の数・負の数の加法、減法 2 正の数・負の数の乗法・除法 3 いろいろな計算 4 数の世界の広がり 	<ul style="list-style-type: none"> ・正負の数の加減の計算の方法を考えることができる。 ・正負の数の加法や減法の混合算ができる。 ・正負の数の乗除の計算の方法を、考えられる。 ・累乗の意味が理解できる。 ・正負の数の乗除や四則の混合算ができる。 ・時差や仮平均で、正負の数が具体的な場面で利用できる。 	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1学期期末考査	2章 文字と式	P59	1節 文字を使った式	<ol style="list-style-type: none"> 1 数量を文字に表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いて考えることの良さや必要性に気づき、いろいろな数量を、文字を利用して表すことができる。 ・数量を文字式で表すことができる。 	☐
		P68	2節 文字式の計算	<ol style="list-style-type: none"> 1 文字式の加法、減法 2 文字式の乗法、除法 3 関係を表す式 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次式を計算して式を簡単に表すことができる。 ・数量の間の関係を等式や不等式で表すことができる。 	☐ ☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	3章 方程式	P86	1節 方程式	<ol style="list-style-type: none"> 1 方程式とその解 2 方程式の解き方 3 比と比例式 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を文字を使って等式で表すことができる。 ・方程式を一定の手順で解くことができる。 	☐
		P99	2節 方程式の利用	<ol style="list-style-type: none"> 1 方程式の利用 2 比例式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な問題を方程式を活用して解くことができる。 ・方程式を使って問題を解く手順を理解する。 ・比例式の性質がわかる。 ・数量の関係を比例式を使って表すことができる。 	☐
2学期期末考査	4章 変化と対応	P112	1節 関数	<ol style="list-style-type: none"> 1 関数 	<ul style="list-style-type: none"> ・ともなって変わる2つの数量についての関係に関心を持ち、その中から比例の関係を見出せる。 	☐
		P117	2節 比例	<ol style="list-style-type: none"> 1 比例の式 2 座標 3 比例のグラフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の点の位置を座標で表すことができる。 ・比例の関係を式で表すことができる。 	☐
		P128	3節 反比例	<ol style="list-style-type: none"> 1 反比例の式 2 反比例のグラフ 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を変数として取り扱うことができる。 	☐
		P137	4節 比例と反比例の利用	<ol style="list-style-type: none"> 1 比例, 反比例の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・変域を不等号を用いて表せる。 ・反比例の関係を理解し、式で表すことができる。 ・反比例のグラフの特徴を掴み、かくことができる。 ・比例・反比例する具体的な事象に関する問題を、式やグラフを利用して解くことができる。 ・変化する量で比例でも反比例でもないものがあることを理解できる。 	☐

2020 度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～5組	教科	数学	科目	数学B
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	図形の学習を通して、論理的な考え方や表現の基礎を身につける				
教材	未来へひろがる数学1・2				
副教材等	WinPass（文理書院）中学1年・2年 毎日の計算トレーニング BOOK1・2				

1. 学習内容

<p>1 学期・・・平面図形</p> <p>2 学期・・・空間図形, 資料の散らばりと代表値</p> <p>3 学期・・・文字と式(中学2年生の内容)</p>

2. アドバイス

<p>授業をしっかり聞き、問題演習に取り組んで下さい。数学が苦手な人は、特に復習を中心に反復学習してください。得意な人は問題集の発展的な問題などに積極的にチャレンジしましょう。</p>
--

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

<p>朝テスト・小テスト・定期考査・授業態度・課題提出</p>

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期中間考査	5章 平面図形	P146	1節 直線と図形	1 直線と図形	<ul style="list-style-type: none"> ・平面図形の移動が作図で表すことができる。 ・線対称、点対称の意味を理解することができる。 ・対称性から性質の理解を深める。 ・作図をして2つの円の位置関係を整理できる。 ・2つの円の性質を利用して、垂線の図が作図することができる。 ・線分の垂直二等分線の意味を理解し、その作図ができる。 	☐
		P153	2節 移動と作図	1 図形の移動 2 基本の作図 3 図形の移動と基本の作図の利用		☐
1学期期末考査	5章 平面図形	P166	3節 円とおうぎ形	1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量	<ul style="list-style-type: none"> ・円の接線の性質を理解し、その作図ができる。 ・角の二等分線や線分の垂直二等分線を利用して円の中心が作図で求められる。 ・角の二等分線の作図を利用して、正八角形を作図することができる。 ・弧、弦、おうぎ形の名称を理解することができる。 	☐
	6章 空間図形	P178	1節 立体と空間図形	1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 立体の構成		<ul style="list-style-type: none"> ・図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができる。 ・空間における直線や平面の位置関係を調べることができる。

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3 学期学年末考査	1 章 式の計算(2年)	P10	1 節 式の計算	<ol style="list-style-type: none"> 1 式の加法, 減法 2 いろいろな多項式の計算 3 単項式の乗法, 除法 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象のなかに数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表し、活用することができるようにすることともに、文字を用いた式の四則の計算ができるようにする。 ・整式の加法、減法および、単項式の乗法、除法の計算ができる。 ・文字が2つ以上のある式について、式の値を求められるようにする。 ・文字式を利用することができる。 ・目的に応じて式を変形することができる。 	☐
		P23	2 節 文字式の応用	<ol style="list-style-type: none"> 1 文字式の利用 		☐

2021 年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～4 組	教科	理科	科目	理科 1 分野
				単位数	2
「学び」の目標とねらい	理科の学びと日常生活は関連していることを知る。				
教材	『新編 新しい科学 1』 東京書籍				
副教材等	【必携】『中学必修テキスト理科1年(東京書籍版)』 文理 理科 I 用の B5 ノート 化学分野(1、2 学期)、物理分野(2、3 学期)				

1. 学習内容

理科とは、自然の現象になぜだろうという疑問をもって観察、実験などを行い、科学的にその疑問を知ろうとする能力の基礎と態度を養うとともに、自然の現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う教科です。

1 分野では、理科のうち化学、物理分野を、小学校の内容を復習しながら学んでいきます。

1 学期は化学分野を学びます。前半は、私たちが使っている『もの』が、どのような材料からできていて、どのような性質をもっているかを学びます。後半は、気体の性質やその集め方について学びます。また、物質が状態変化をおこしたときの質量や体積、温度の変化や、まざり合ったものから物質を取り出す方法について学びます。

2 学期前半は、水溶液では溶けているものの取り出し方や、水溶液のこさを計算よって求める方法を学びます。2 学期後半からは物理分野のうち、光と音の性質について学びます。光はどのように進むのか、どのように反射するのか、光が折れ曲がって進むのはどのようなときなのかを学び、とつレンズ(虫めがね)で見るとなぜ大きく見えるのかを学習します。また、音はどのように聞こえるのか、音の大きさや高さを決めているものは何かについて学びます。3 学期は、力について学びます。力のはたらきや力の種類、力の大きさとはばねののびの関係について学び、私たちの生活にどのように使われているのかを知りましょう。

2. アドバイス

- ・暗記すべき事をしっかり暗記すること。
- ・問題を解くときは、図に表して理解する習慣をつけること。
- ・授業では、ノートには板書のみならず、口頭でなされた説明もメモする習慣が大切である。
- ・出される宿題、指示された確認テストにしっかり取り組むこと。
- ・授業に集中して、参加すること。

成績は、試験の結果のみではなく、確認テストなども含めて出されるものです。その指標が上にあげた点です。また、授業時に毎時間確認テストを行いますので、しっかりと学習しましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(確認テスト・実験・ノート提出)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	身のまわりの物質	70-90	身のまわりの物質とその性質	物の調べ方 金属と非金属 さまざまな金属の見分け方 白い粉末の見分け方 プラスチック	物体と物質の違いがわかる。 物質の調べ方がわかる。 金属の特徴が言える。 金属と非金属の違いがわかる。 密度がどのようなものかわかる。 密度を求めることができる。 有機物、無機物の例が言える。 プラスチックの特徴がわかる。 プラスチックの特徴から、区別ができる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		91-99	気体の性質	身のまわりの気体の性質 気体の性質と集め方	二酸化炭素、酸素、水素の性質や発生方法、窒素の性質がわかる。 アンモニアの性質や発生方法がわかる。 気体の性質に合わせた集め方がわかる。	☐ ☐ ☐
1学期期末考査	身のまわりの物質	114-129	物質の姿と状態変化	物質の状態変化 物質の状態変化と体積・質量の変化 状態変化が起こるときの温度 蒸留	状態変化がどのような現象かわかる。 物質が状態変化をおこすときの体積と質量の変化の特徴がわかる。 物質が状態変化をおこすとき、物質をつくる粒子がどのようにになっているかわかる。 純粋な物質が状態変化をおこすときの温度変化の特徴がわかる。 蒸留の実験操作がわかる。 蒸留の特徴がわかる。 混合物を加熱したときの温度変化の特徴がわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
				これまでに行った確認テストの復習 2学期最初の授業時に、中学1年1学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。	☐	
夏休み	復習					☐

2学期中間考査	身のまわりの物質	100-113	水溶液の性質	物質が水にとけるようす 溶解度と再結晶	物質が液体に溶けるとき、物質をつくる粒子がどのようになっているかがわかる。 「とける」がどのようなことかわかる。 溶質、溶媒、溶液の違いがわかる。 溶液のこさを、質量パーセント濃度で求めることができる。 質量パーセント濃度の式を使って、さまざまな計算問題を解ける。 溶液から溶質を取り出す方法がわかる。 溶解度曲線が読める。 溶解度曲線から、再結晶の量がわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		140-159	光の世界	物の見え方 光の反射 光の屈折 レンズのはたらき	光が反射することがわかる。 光がまっすぐ進むことがわかる。 光が鏡などで反射するときの特徴がわかる。 光が異なる境界面で折れ曲がって進むときの特徴がわかる。 全反射がどのような現象かわかる。 凸 ^{とつ} レンズの特徴がわかる。 凸 ^{とつ} レンズによってできる像の特徴がわかる。	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
2学期期末考査	身のまわりの現象	160-167	音の世界	音の伝わり方 音の大きさや高さ	音が伝わる原理がわかる。 音の伝わる速さを理解し、計算で求めることができる。 音の大きさを決めているものがわかる。 音の高さを決めているものがわかる。	☐ ☐ ☐ ☐
				冬休み	復習	これまでに行った確認テストの復習 3学期最初の授業時に、中学1年2学期までに行った確認テストに関する復習テストを行います。各自で復習を行ってください。

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～4 組	教科	理科	科目	理科 2 分野
				単位数	2
「学び」の 目標とねらい	理科の学びと日常生活は関連していることを知る。				
教材	『新しい科学 1』 東京書籍				
副教材等	【必携】『中学必修テキスト理科1年(東京書籍版)』 学書 【必携】授業用ノート 1 冊				

1. 学習内容

中学校の理科の授業は第 1 分野の授業と第 2 分野の授業に分かれ、第 2 分野では 3 年間かけて生物分野と地学分野を学習します。中学 1 年の生物分野では、「生物の観察」、「生物のからだの共通点と相違点」について、地学分野では「地層・火山・地震」について学習します。

生物(動物・植物)のからだの形には、さまざまな意味があります。何のために、そのような形をしているのか？その形だと何に都合がいいのか？など、生物のからだのつくりと生活に関連させて学びます。

火山や地震は実は日本特有のもので、世界中どこにでもあるものではありません。身近な自然現象として学習を進めていきます。

中学校の理科の授業では学年によって学習する内容や分野が異なりますが、それぞれの学習内容は独立しているものではありません。それらを一つひとつ結びつけて考えることが大切です。そのためにも復習に力を入れ、以前に学習した内容を忘れないようにしてください。授業でも小学校の内容も含めて適時復習していきます。

2. アドバイス

・理科は、皆さんの生活に直結した教科です。身近にあるもの、起こった出来事に、関心を持ちましょう。そして、疑問があれば、自分で調べて解決していきましょう。

・授業や実験では、皆さんの疑問を解決するのに必要な基本的な知識を学習します。集中して参加することで、皆さんの生活が豊かになることでしょう。

・出される宿題、指示された小テストにしっかり取り組むこと。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査

平常点(小テスト・実験・宿題・レポートなど)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	生物の観察と分類のしかた	13-26	生物の観察と分類のしかた	身近な生物の観察	生物の観察方法 正しいスケッチのしかたを習得する ルーペを正しく使う 顕微鏡を正しく使う 顕微鏡で水中の微生物を観察する 観察結果をまとめる	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		27-37	植物の分類	生物の特徴と分類 身近な植物の分類 果実をつくる花のつくり 裸子植物と被子植物	生物のなかま分け 植物の分類 花のつくりを理解する 裸子植物と被子植物のちがいを理解し、分類する 植物のからだを観察し、単子葉類と双子葉類の特徴を理解する	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
1学期期末考		38-44	植物の分類	花をさかせず種子をつくら ない植物 さまざまな植物の分類	種子をつくらない植物のからだの つくりと特徴を理解する これまで学習した植物を分類する	☐ ☐
		45-53	動物の分類	身近な動物の分類 セキツイ動物	動物の分類方法 セキツイ動物の種類と特徴	☐ ☐
夏休み	復習		① 植物園などの見学 ② 自由研究:レポートの提出 ③ 1学期に行った小テストの復習 2学期最初の授業時に、1学期に行った小テストに関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。			☐
2学期中間考査	生物の観察と分類・大地の変化	50-61	動物の分類	セキツイ動物 無セキツイ動物 動物の分類表の作成	セキツイ動物のなかま分け 恒温動物と変温動物 無セキツイ動物の種類と特徴 これまで学習した動物を分類する 肉食動物と草食動物の違い	☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		199-205	火をふく大地	火山の姿からわかること 火山がうみ出す物	火山の形や噴火について理解する 火山噴出物について理解する 鉱物について理解する	☐ ☐ ☐

2学期期末考査	大地の変化	206-212	火をふく大地	火山の活動と火成岩	火成岩の種類と特徴を理解する 火山岩と深成岩の違いを理解する 火山岩と深成岩の観察	☐ ☐ ☐
		213-224	動き続ける大地	火山とともにくらす 地震のゆれの伝わり方 地震が起こるところ 地震に備えるために	火山がもたらす恵みと災害を知る 初期微動と主要動 震度とマグニチュードの違い プレートの動き 断層 プレートによる地震発生のしくみを理解する 地震による現象を理解する	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
冬休み	復習	1、2学期に行った小テストの復習 3学期最初の授業時に、1、2学期に行った小テストに関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。				☐
3学期学年末考査	大地の変化	226-241	地層から読みとる大地の変化	地層のつくりとはたらき 堆積岩 地層や化石からわかること 大地の変動 身近な大地の歴史	流れる水のはたらき 堆積岩の種類と特徴を理解する 堆積岩の観察 地層や化石から読みとれることを理解する しゅう曲と断層について理解する 地層のようすがわかる 大地の変化と地形について調べる	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐
		1~3学期に行った小テストの復習 次年度最初の理科Ⅱの授業時に、今年度行った小テストに関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。				☐
春休み	復習	1~3学期に行った小テストの復習 次年度最初の理科Ⅱの授業時に、今年度行った小テストに関する試験を行います。 各自で復習を行ってください。				☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～4組	教科	音楽	科目	音楽
				単位数	1.5
「学び」の目標とねらい	音楽への興味・関心を持ち、正しい発声で歌えるようになる				
教材	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)				
副教材等	【必須】キミウタ(混声合唱曲集) 【必須】アルトリコーダー				

1. 学習内容

○ 表現

- (1) 歌唱…混声合唱曲を通して、歌詞の内容を感じ取り、表現を工夫して歌う
- (2) 器楽…アルトリコーダーの特徴をとらえ、基本的な奏法を身につけて演奏する
- (3) 創作…音楽を形づくっている要素を感じ取り、表現を工夫して創作をする

○ 鑑賞

- (1) 音楽を形づくっている要素や曲想との関わりを感じ取り、音楽の良さや美しさを味わう
- (2) 我が国やアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞する

2. アドバイス

○まずは校歌をしっかりと歌えるようにしましょう。入学説明会で配られるCDを聞いて、歌詞も覚えられるようにしましょう。

○合唱コンクールが2月にあります。中学1年生のクラス仲間たちとの集大成になりますので、指揮者、伴奏者、パートリーダーなどを中心に、協力してクラス合唱を作り上げていきましょう。

○中学2・3年生に上がっていくにつれ、難しい曲や長い曲にチャレンジできるようにしましょう。中学1年生は、基礎となる部分です。この時期にしっかりと、正しい発声を身につけましょう。

○この時期、男子は特に変声期を迎え、ときには音程が取りにくく感じる時があるかもしれませんが(変声期は女子にもあります)。個人差はありますが、いずれは豊かな声で歌えるようになるので、変化していく音域に合わせて丁寧な歌い方を心がけましょう。

○「ドレミファソラシ」がト音記号でもヘ音記号でも読めるようにしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

実技試験(授業内)・筆記試験(期末考査)・授業中の取り組み・提出物

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	パートの役割を知ろう・曲想の変化を感じ取ろう	32-35	校歌	歌唱:豊かな発声	歌う喜びを味わう	☐
			クラス合唱	合唱表現	パートの役割や全体の響きを感じ取り、合唱の喜びを味わう	☐
			鑑賞:音楽は何からできているの?	鑑賞:詩の内容を理解し、場面を想像しながら聴く	主体的に鑑賞する態度を身につける	☐
			言葉で音楽	創作:簡単な旋律	言葉の特徴を感じ取り、簡単な旋律をつくる	☐
2学期	アルトリコーダーの基礎・言葉を大切に歌おう	24-25 68-69 36-49	アルトリコーダー	器楽	「ド〜ソ」の運指を身につける	☐
			『赤とんぼ』	共通:我が国の音楽	タンギング奏法を身につける	☐
			『マイバラード』	歌唱:混声三部合唱	我が国の音楽に親しむ	☐
			鑑賞:曲中の登場人物の気持ちを考えよう	歌唱:混声三部合唱	豊かな発声で、言葉を大切に歌う	☐
3学期	様々な音楽に触れよう	58	合唱コンクールに向けての練習	ソプラノ・アルト・テノールに分かれて歌う	パートリーダーや指揮者を中心にクラスで団結して歌う	☐
			『Forever』	歌唱:曲想の変化	雰囲気合った正しい発声で、表現を工夫しながら合わせて歌う	☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～4組	教科	美術	科目	美術
				単位数	1.5
「学び」の目標とねらい	さまざまな素材を通じて発想力、感性を高め育てる。				
教材	美術1(開隆堂)				
副教材等	筆記用具、エプロン、絵の具セット など				

1. 学習内容

さまざまな素材を通じて発想力を育てる。

ものを作り出す前に、まず「五感で感じることを大切にする。

さまざまな素材に触れることで、素材の特性を理解し、今後の創作活動につなげていく。

2. アドバイス

試行錯誤の連続が力のある作品を生み出します。

いい作品を作るという気持ちを大切にする。

より良い作品ができるよう、授業時間を有効に使って取り組んでください。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

授業態度、作品、定期考査の結果を元に評価します。

作品の提出が大前提です。

評価は「作品に対する取り組み方」、「完成度」を基準とする。

上手い下手よりも、丁寧さを重視して評価します。

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期中間考査	技法・デザイン		近代技法	<ul style="list-style-type: none"> ○美術室使用の説明 ○基本的な注意事項 ○発想、構図、着彩について基礎的な解説 ○マーブリングなどの近代技法に触れることで、筆や鉛筆で描くこと以外の描画方法があることを体感する 	発想、構図、着彩の方法について理解する。 新しい技法を獲得し知識として発想に組み込む。	☐ ☐
1学期期末考査	絵画		平面構成	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな近代技法による平面表現 ○近代技法を活用した表現について学習する 	様々な近代技法を理解する。 工作活動が平面表現につながる過程を理解し、新しい技法を用いて表現する。	☐ ☐
2学期中間考査	彫刻		消しゴム判子	<ul style="list-style-type: none"> ○ポストカード・判子デザイン ○彫刻刀の使い方 	テーマ・見通しをもってデザインを考える。 刃物の種類や使い方、取り扱いについて理解する。	☐ ☐
2学期期末考査	彫刻		消しゴム判子	<ul style="list-style-type: none"> ○消しゴム判子制作 ○複数のデザインの作品制作 	彫刻刀を安全に使う。 色彩、押し方などの表現を工夫し、イメージを膨らませて作成する。	☐ ☐
3学期学年末考査	絵画		デッサン	<ul style="list-style-type: none"> ○鉛筆の使い方の学習 ○手のデッサン 	鉛筆の使い方を理解する。 学んだ表現方法を活かして描く。	☐ ☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～4組	教科	技術・家庭	科目	家庭
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	「自分の生活」をさまざまな視点からみつめ、たくさんの発見をしよう。				
教材	技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する（教育図書）				
副教材等	【必携】準拠ノート・ファイル（年度初めの授業で配布します）				

1. 学習内容

自分の人生や生活を深くみつめます。よりよい生活とはどのようなものかを実践的・体験的な学習活動を通して考え、生活の自立を目指します。中学校家庭科は「自分の生活について考える・体験する・身に付ける」をテーマにしています。

2. アドバイス

- 1 真剣に自分自身と向き合うこと
- 2 あらゆるものに興味を持って取り組むこと
- 3 製作課題は授業内で完成するように努力すること

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

定期考査
平常点（課題、ノート、製作作品、授業に取り組む姿勢）

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標 (以下のことが理解できるようにすること)	確認欄
1学期期末考査	私と家族	12-35	家族や家庭生活とのかかわり	家族の一員を自覚する 家族関係をよりよくする 家庭生活と地域とのかかわり	多様な家族の関係や生活の仕方を知り、現代における家庭の働きや社会のつながりについて理解する。 家族が互いに立場や役割を理解し、協力して家族関係をよりよくすることが大切であることに気づき、どのような方法があるのか具体的に考えられる。 家庭生活は地域の支援があって成り立っていることを知り、地域の一員として地域の活動に参加する方法を学習する。また、地域住民の活動を知り、地域の課題を理解し、高齢者など地域の人々にかかわることができるようにする。	☐ ☐ ☐
	着る	162-169	私たちの衣生活	衣服の働き 目的に合わせた着方	衣服の3つの働きを理解する。 TPO や色などに留意した着方を考え、伝統的な衣服の特徴も知ることができる。	☐ ☐
2学期期末考査	着る	190-211	生活を豊かにする 製作	被服実習(エプロン) 衣服の活用	手縫いやミシンを使っでの製作をすることができる。 環境に配慮し、衣服を洗濯することができる。	☐ ☐
		170-177	私たちの衣生活	自分に合った衣服の選択	既制服の表示を読み取り、自分にあった衣服を洗濯することができる。 既制服のサイズ表示、組成表示、取り扱い絵表示を読み取る。	☐ ☐
3学期学年末考査	着る	178-189	私たちの衣生活	衣服の手入れ	適切な手入れの方法を理解し、表示や取り扱い絵表示を見て適切な洗濯方法を理解する。	☐

令和3年度 文教大学附属中学校 年間シラバス

学年・組	1年1～4組	教科	技術・家庭	科目	技術
				単位数	1
「学び」の目標とねらい	ものづくりを通して、作ったものはもちろん、身の回りのものすべてを大切に使う心を育てよう。				
教材	技術・家庭(技術分野)開隆堂				
副教材等	【必携】ファイル(後日配布します) 【指示があったときのみ準備するもの】エプロン				

1. 学習内容

技術・家庭科の授業は、週に2時間ありますが、最初の授業は技術、翌週は家庭という具合に毎週準備する内容が異なりますので、注意してください。ガイダンスの際に予定表を渡しますので、それにしたがって準備してください。急に休校になった場合には、予定が変更になることがあるので、授業の連絡を聞き逃さないようにしましょう。

中1の技術では、最初の1学期は1時間目に「情報に関する技術」を学習し、2時間目に「材料と加工に関する技術」の学習をします。「情報」の時間では、タブレットの操作に慣れることはもちろんですが、正しく活用するための「モラル」を知って使用することが大切です。

「木工」では、木材の特徴を覚え、用途に応じてたたく材料を使えるようにします。そして、それを元に「オリジナルラック」の製作をします。設計からおこない、使用する道具の名前を覚え、正しい道具の使い方で製作していきます。世界で一つだけの自分だけの作品を楽しく作っていきましょう。

2. アドバイス

タブレットの操作は早めになれると思いますが、何より大切なのは、「正しく」使いこなすことです。どんなに使っても、モラルを知らなければ使用する権利はありません。

オリジナルラックは、「楽をして作ろう」という気持ちでは、いい作品はできません。「人よりも工夫されたいい作品をつくろう」という前向きな気持ちで製作することが大切です。たとえば、紙やすりをかけることにしても、頑張れば頑張るほど、きれいな作品が出来上がります。

定期テストは、1学期期末テスト、2学期期末テスト、学年末テストの3回行います。中間テストは行いません。授業は、配布するプリントを中心に進めていきますので、最初に配布するファイルにしっかりとまとめて行きましょう。学期の最後にファイル提出をしてもらうので、日頃からプリントの管理をしっかりしておくようにしましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期テスト
- ・ファイル提出
- ・授業を受ける姿勢
- ・作品

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
1学期	情報に関する技術	196	利用するときのモラル	情報モラル	著作権、個人情報、プライバシー、インターネットによる正しいコミュニケーションを知る。	☐
		242	コンピュータの基本操作	「美佳タイプ」を使ってタイピング練習する。	キーボード操作に慣れる。	☐
1学期	材料と加工に関する技術	26 56	製品の設計	1木材の特徴と性質 2道具の使用方法	木材の組織、強さ、変形などの木材の特徴について理解する。 両刃のこぎり、差し金などの正しい使用方法を、体験を通して理解する。 繊維方向による、作品の強度の違いを正しく知る。	☐ ☐ ☐
		42 54	3本棚の製作		自分の棚のデザインを考える。 差し金や直角定規を使って、材料に正しくけがきができる。 のこぎりを使って、正しく部品加工を行う①	☐ ☐ ☐
2学期	材料と加工に関する技術	68		4組み立て	のこぎりを使って、正しく部品加工を行う② げんのうの使い方、仕組みを理解する。 げんのうを使って正しく釘うちができるようにする。そして効率よく組み立てを行う。	☐ ☐ ☐
3学期	材料と加工に関する技術	70		5仕上げ・塗装	組み立てられた作品を、紙やすりなどを使って仕上げることができる。 刷毛を使い、正しく作品にニスを塗ることによって、きれいに作品を仕上げることができる。	☐ ☐

2021 年度 文教大学付属中学校 年間シラバス

学年・組	1 年 1～4 組	教科	外国語	科目	英語
				単位数	5
「学び」の 目標とねらい	わたしたちの身の回りには英語があふれています。1 年生の目標は、自分自身や身の回りの人や物事について英語で紹介できるようになることです。				
教材	『NEW HORIZON English Course 1』(東京書籍)				
副教材等	【必携】『チャレンジ英和・和英辞典』(ベネッセ) 『読み書きラボ』(正進社) 『エイゴラボ①』(正進社) 『英語のたてよこドリル 1 年』(正進社) 『魔法の読み書きワーク 1』(東京書籍) 『ニューホライズン学習ノート 1』(東京書籍) ※プリント管理用に多穴ファイル				

1. 学習内容

英語を「話す」「聞く」「読む」「書く」ための基本的な力を養います。授業では基礎的な反復練習や問題演習のほか、ゲームや歌、プレゼンテーションなど多彩な活動を行います。楽しみながらたくさん英語にふれ、そして英語を使って運用力を身につけましょう。

授業は週 5 回ありますが、学ぶ内容や活動の重点別に次のように種類を分けて行います。

- 英語 A (週 4 回): 教科書を使って英語のかたち・意味・使用場面について学習します。
- 英語 B (週 1 回): 英語 A で学習した内容や副教材を使って練習し、定着させます。

TT(ティーム・ティーチング)を実施し、ネイティブの先生と積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ります。

2. アドバイス

英語は毎日！

英語は、体育と同じ「実技教科」です。単語の読み方や意味、そして単語のならべ方などのルールがわかったら、それらを使って何度も練習し、会話やライティングにつなげていくことがとても大切です。授業で学んだことを繰り返し練習・実践していくことで、英語を使う神経をよびおこし、英語を使う筋肉を鍛えていきましょう。

英語の力をつけるために、毎日家庭でも学習を続けていく必要があります。教材を使いながら、日常的に練習を続ける習慣をつけましょう。

3. 成績をつけるにあたり考慮すること

- ・定期考査
- ・平常点(朝テスト・授業態度・授業内小テスト・宿題・課題・実技試験・ノートなどの提出物)

4. 学習指導計画

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
			ガイダンス(案内)	授業の進め方の説明や注意事項など	授業への取り組み方やノートの作り方, 予習・復習のやり方などについて理解する。	☐
1学期中間考査	聞いてわかる, 言える	4-5	Unit 0 Part 1	場面の表現	小学校で習った表現を使って, 自分と相手のことについてやり取りすることができる。	☐
		6-8	Unit 0 Part 2	英語の音と文字	アルファベットの知識をもとに, 単語を読んだり書き写したりすることができる。	☐
		9	学び方コーナー①	辞書の使い方①	英和辞書の見出し語配列について知り, 基本的な使い方を理解する。	☐
		10-13	Unit 1 Part 1	I am ... I like ...	おたがいのことをよりよく知るために, 名前や好きなものなどについて伝え合うことができる。	☐
		14-15	Unit 1 Part 2	Are you ...? Do you ...?	おたがいのことをよりよく知るために, 出身地や好きなスポーツなどについてたずねたり答えたりすることができる。	☐
		16-17	Unit 1 Part 3	can の文	おたがいのことをよりよく知るために, できることやできないことについてたずねたり答えたりすることができる。	☐
		19-21	Unit 2 Part 1	This [That, He, She] is ... Is that [this] ...?	相手に紹介する場面で, 身近な人やものについて話すことができる。	☐
		22-23	Unit 2 Part 2	What ...? Who ...?	疑問に思うことを知るために, 人[もの]がだれ[何]なのかについて, たずねたり答えたりすることができる。	☐
		24-25	Unit 2 Part 3	How do you ...? What do you ...?	おたがいのことをよりよく知るために, 通学手段や朝食などふだんの行動についてたずねたり答えたりすることができる。	☐
		26-27	Grammar for Communication 1	◆be 動詞と一般動詞	be 動詞と一般動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し, 理解を確かめる。	☐

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	聞いてわかる, 言える	56	Small Talk! 1	学力テスト・解説	現時点での学習でうまくいっている点とそうでない点を確認する。	□
		57-58	Unit 6 SO/Pre	◆be 動詞, 一般動詞 三人称単数現在形	家族などが好きなことを聞き取ったり, いっしょにすることなどについて話したりすることができる。	□
		59	Unit 6 Story①	三人称単数現在形 (肯定文)	家族や身近な人について聞き手に伝えたり, どのような人かを知るために話の概要を捉えたりすることができる。	□
		60	Unit 6 Story②	三人称単数現在形 (否定文)	家族や身近な人がすることなどについて聞き手に伝えたり, どのようなことをしている人かを知るために話の概要を捉えたりすることができる。	□
		61	Unit 6 MA	◆三人称単数現在形 (肯定文, 否定文)	友達などについてのスピーチを聞き取ったり, 友達の趣味などについてたずね合い, わかったことを整理して書いたりすることができる。	□
		62	Unit 6 Story③	三人称単数現在形 (疑問文)	友達の家族などがどのような人かを知るために, 対話の概要を捉え, その情報に追加してたずねたり書いたりすることができる。	□
		63	Unit 6 UA	◆三人称単数現在形	友達のことをほかの友達に知ってもらうために, まとまりのあるスピーチをしたり, やり取りしたことを整理して紹介文を書いたりすることができる。	□
		64	Let's Talk 1	Can I ...? Can you ...? ◆be 動詞, 一般動詞	身近な人に許可を求めたり, 依頼したりすることができる。	□
		65	学び方コーナー③	辞書の使い方②	英和辞書から英文に合った単語の意味を見つけるための使い方を理解する。	□
		66	Grammar for Communication 4	◆三人称単数現在形	三人称単数現在形を用いた文の形・意味・用法を復習し, 理解を確かめる。	□
		67-68	Unit 7 SO/Pre	◆三人称の表現 人称代名詞の目的格, Which ...?	自分と相手以外の人は何をする人かを聞き取ったり, 質問したりすることができる。	□

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期中間考査	聞いてわかる、言える	69	Unit 7 Story①	人称代名詞の目的格	自分と相手以外の人を知るために、どのような人かをたずねたり答えたりすることができる。	□
		70	Unit 7 Story②	Which …(, A or B)?	文化や言葉、食べ物などについて知るために、どちらであるかをたずねたり答えたりすることができる。	□
		71	Unit 7 MA	◆人称代名詞の目的格, Which …?	人について聞き取ったり、たずねたり答えたりすることができる。	□
		72	Unit 7 Story③	Whose …? mine, yours	持ち主がだれであるかを知るために、だれのものかをたずねたり答えたりすることができる。	□
		73	Unit 7 UA	◆Whose …?, 人称代名詞の目的格	教科書のキャラクターについてよりよく知るために、情報を整理して伝え合うことができる。	□
		74	Let's Talk 2	What's wrong? — I have …. ◆命令文	相手の体調についてたずねたり、自分の体の不調について説明したりすることができる。	□
		75	Let's Listen 1	◆三人称単数現在形, want to, 人称代名詞の目的格	人に関する紹介を聞いて、基本情報やその人がどのような人かを理解することができる。	□
		76	Grammar for Communication 5	◆人称代名詞	代名詞の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	□
2学期期末考査	読める、書ける	77-78	Unit 8 SO/Pre	中間考査返却・解説 学力テスト・解説 ◆When …?, Which …? 現在進行形	間違えたところを確認ししっかり復習する。 現時点での学習でうまくいっている点とそうでない点を確認する。 誕生日にほしいものを伝えたり、電話での会話から相手がしていることを聞き取ったりすることができる。	□ □ □
		79	Unit 8 Story①	現在進行形(肯定文)	今していることを伝えるために、現在の動作について説明することができる。	□
		80	Unit 8 Story②	現在進行形(疑問文)	相手が何をしているかを知るために、現在の動作についてたずねたり答えたりすることができる。	□
		81	Unit 8 MA	◆現在進行形	現在の状況を知るために、今していることを伝え合うことができる。	□

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
2学期期末考査	読める、書ける	82	Unit 8 Story③	感嘆文(How …!, What …!)	自分の気持ちを伝えるために、感動や驚きを表現することができる。	□
		83	Unit 8 UA	◆現在進行形	現在の状況を伝えるために、今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。	□
		84	Let's Write 1		目的に合わせたカードを書くことができる。	□
		85	学び方コーナー④	単語のつづりと発音②	英語の子音の文字と音との関係を知り、英語らしい発音をすることができる。	□
		86	Grammar for Communication 6	◆現在進行形	現在進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	□
		87-88	Unit 9 SO/Pre	◆現在進行形, I want to … want [try, need など] to	したいことやしようとしていることを説明することができる。	□
		89	Unit 9 Story①	want [try, need など] to	将来の夢や希望を伝えるために、したいことやしようとしていることを伝えることができる。	□
		90	Unit 9 Story②	What do you want to …?	相手の希望を知るために、したいことやする必要のあることをたずねたり答えたりすることができる。	□
		91	Unit 9 MA	◆want to	行きたい国とそこでしたいことを伝え合うために、おたがいの考えをたずねたり答えたりすることができる。	□
		92	Unit 9 Story③	look + 形容詞	人やものの様子を説明するために、視覚的な判断を伝えることができる。	□
		93	Unit 9 UA	◆want to	世界や地域の問題を伝えるために、したいことやする必要のあることについて、自分の思いを伝えることができる。	□
		94	Let's Talk 3	◆現在進行形, 命令文	徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。	□
		95	Let's Listen 2	◆助動詞 can, need to	友達にあとで伝えるべき情報を聞き取ることができる。	□
96-97	Stage Activity 2	◆既習事項の総復習	好きな有名人やあこがれの人についてたずねたり、説明したりすることができる。	□		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
		98-99	Let's Read 1	◆既習事項の総復習 2 学期総まとめ・期末対策	図や表などの情報を参考に、書き手の考えを読み取ることができる。 2 学期の学習内容を確実に理解する。	☐ ☐
冬休			●ウインターワーク ●冬期講習【補充・発展】			
3 学期学年末考査	英検5級合格を目指そう！	100	Small Talk! 2			☐
		101-102	Unit 10 SO/Pre	◆What do you …? 一般動詞の過去形	過去にしたことを伝え合うことができる。	☐
		103	Unit 10 Story①	規則動詞の過去形(肯定文)	過去の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを説明することができる。	☐
		104	Unit 10 Story②	不規則動詞の過去形(肯定文)	過去の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを説明することができる。	☐
		105	Unit 10 MA	◆一般動詞の過去形(肯定文)	最近の出来事を伝えるために、自分がしたことなどを、たずねたり説明したりすることができる。	☐
		106	Unit 10 Story③	一般動詞の過去形の疑問文, 否定文	冬休みの思い出などを伝え合うために、過去の出来事をたずねたり答えたりすることができる。	☐
		107	Unit 10 UA	◆一般動詞の過去形	冬休みの思い出を伝え合うために、過去の出来事をたずねたり答えたりすることができる。	☐
		108	Let's Write 2	◆一般動詞の過去形	旅先からの絵はがきを書くことができる。	☐
		109-110	Unit 11 SO/Pre	◆一般動詞の過去形, be 動詞の過去形, There is [are] …., 過去進行形	過去の状態や気持ちなどを伝え合うことができる。	☐
		111	Unit 11 Story①	be 動詞の過去形	一年の思い出を伝え合うために、過去の状態や気持ちをたずねたり答えたりすることができる。	☐
112	Unit 11 Story②	There is [are] ….	新しい話題を始めるために、「…がある」とたずねたり答えたりすることができる。	☐		

時期	テーマ	教材頁	単元名	学習内容	到達度目標	確認欄
3 学期学 年末考 査	英検5級合格を目指そう！	113	Unit 11 MA	◆ be 動詞の過去形, There is [are] ….	自分の町を紹介するために, 町にある施設を説明することができる。	□
		114	Unit 11 Story③	過去進行形	過去の動作を伝えるために, 過去のある時点にしていたことについて, 説明することができる。	□
		115	Unit 11 UA	◆ be 動詞の過去形, 過去進行形	思い出を残すために, 英語で日記を書くことができる。	□
		116	Let's Talk 4	◆ be 動詞の過去形	レストランなどで, 注文をしたり質問に答えたりすることができる。	□
		117	Let's Listen 3	◆ 動詞の過去形, There is [are] ….	休暇の思い出など日常的な話を聞いて, 主要内容を聞き取ることができる。	□
		118- 119	Grammar for Communication 7	◆ 動詞の過去形, 過去進行形	過去形と過去進行形を用いた文の形・意味・用法を復習し, 理解を確かめる。	□
		120- 121	Stage Activity 3	◆ 既習事項の総復習	思い出に残った学校行事について発表することができる。	□
		122- 123	Learning <i>LITERATURE</i> in English	◆ 動詞の過去形, 過去進行形	英語で書かれた文学作品を聞いて話の概要を捉え, 物語の構成を理解することができる。	□
		124- 126	Let's Read 2	◆ 既習事項の総復習	物語を読んで, 場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。	□
				まとめ	3 学期総まとめ・学 年末対策	3 学期の学習内容を確実に理解する。
春 休 み		● 春期テキスト				